

ANNUAL REPORT 2024

HOKKAIDO UNIVERSITY
OFFICE OF DIVERSITY,
EQUITY,
AND INCLUSION

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ
(女性リーダー育成型)



CONTENTS

1 文部科学省科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (女性リーダー育成型) の取組	02
上位職登用	05
研究力向上とリーダー育成	07
意識啓発	16
2 各部門の取組		
環境整備推進部門	23
女性研究者育成支援部門	27
教育推進部門	28
実施事業一覧	35



文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ
(女性リーダー育成型) の取組



文部科学省科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）について

概要

北海道大学は令和5年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」の採択を受けました。

本事業では、学術を起点として世界の課題解決に貢献するための DEI を実現するため、「Accelerate Ambitions of All」(Triple A) をテーマに、すべての女性研究者が Ambition を存分に発揮できる環境を整えるとともに、上位職・管理職における女性比率増加の加速を目指し、2028 年度までの 6 年間、事業を実施していきます。

行動計画・目標

行動計画

I DEI推進の基盤としての抜本的な組織改革および意識改革

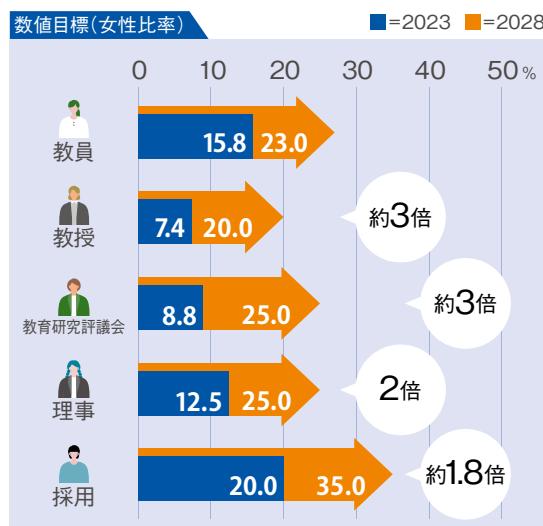
- ① DEI推進体制の強化
- ② 全学的なDEI意識の改革と醸成
- ③ DEI環境の整備とケア支援の拡充

II 各人のambitionに寄り添った女性研究者リーダーの育成

- ① 上位職(管理職)の育成・支援
- ② 研究力強化およびリーダー育成・支援
- ③ 若手研究者(博士学生含む)のキャリア形成支援

III 女性研究者の採用および上位職への積極的な登用

- ① 女性教授増加を促進する「加速アクションプラン」の実施
- ② 女性教員採用を促進するための総合的な人事計画の策定



女性リーダー育成型特設サイト
https://www.dei.hokudai.ac.jp/josei_shien/



DEI 実現に向けた推進体制の強化～「DEI 改革推進会議」及び 「DEI 推進員等会議」の設置～概要

北海道大学は、2021年に公表した「ダイバーシティ・インクルージョン推進宣言」及び2023年に公表した「HU VISION 2030」において示したように、本学の Diversity, Equity, and Inclusion (DEI) 実現に向けて、教育研究環境の整備や優れた人材の育成に邁進しています。今年度、DEI 推進の基盤となる抜本的な組織改革の一環として、新たに「DEI 改革推進会議」と「DEI 推進員等会議」を2024年4月に設置しました。

「DEI 改革推進会議」は、総長、理事、DEI 担当副学長で構成され、DEI の課題に特化した大局的な方針等を審議・策定する会議として設置されました。総長のトップダウンのもと、DEI に係る基本理念に関すること、DEI 推進のために必要な全学的な施策に係る方針に関すること、その他全学的な DEI 推進に必要な事項について審議するとともに、教育、研究、施設整備、社会連携、人事労務、財務等に関して各担当理事間で総合調整を行い、本学の DEI を推進します。

また「DEI 推進員等会議」は、各部局等からの推薦を受け委嘱する DEI 推進員によって構成され、部局における DEI 推進のため、各部局が抱える課題や取組動向について DEI 推進員が情報収集するとともに、好事例や先行事例を部局間で共有し普及に努め、教育研究の現場からのボトムアップの機能を担うことを目的に設置されました。

● 開催実績

「DEI 改革推進会議」

第1回 2024年7月8日

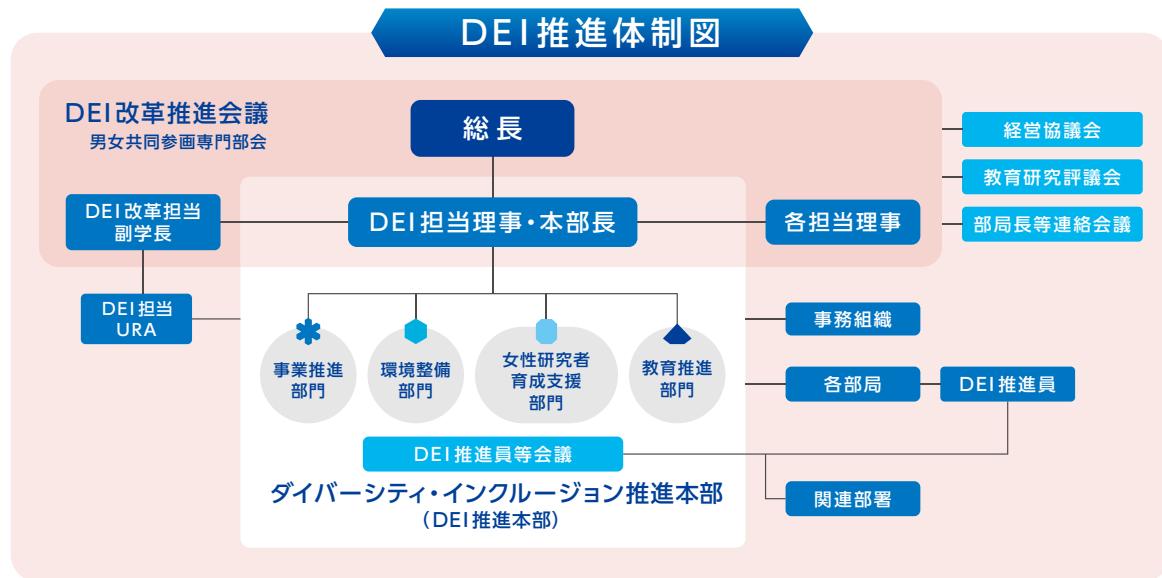
第2回 2024年10月24日

第3回 2025年3月24日

「DEI 推進員等会議」

第1回 2024年7月24日

第2回 2025年3月5日



ニュースレター発行

ダイバーシティ・インクルージョン推進本部（DEI 推進本部）の活動を広く周知するため、DEI ニュースレターを発行しています。Vol.8 では DEI 実現に向けて強化した推進体制について特集しました。

DEI 2024 August Diversity Equity Inclusion NEWSLETTER

vol. 08

ダイバーシティ・イニシアチブ
Office of Diversity, Equity, and Inclusion

DEI実現に向けた推進体制を強化

北海道大は、今月8日には表記した「ダイバーシティ・イン・ルージュ」(DEI推進会議)および表記した「HUS Vision 2030」において示すように、本学のDiversity, Equity, and Inclusion(DEI)実現に向けて、教育研究環境の整備・優れた人材の育成に取り組んでいます。今後、DEI推進会議の活動などを抜本的に改めて、まとめて「[DEI]推進会議」として「[DEI]推進会議等会議」を2024年4月に改めました。

「DEI推進会議長は、統括、研究、人事、DPI担当本部等で構成され、DEIの課題に特化した大筋の方針等を審議・策定する組織として設置されました。

DEI推進会議は、男女共同参画専門会議と並んで、DEI担当理事・本部長が総長の下に置かれ、各指揮理事が各指揮理事の下に置かれます。また、各指揮理事は、各事務組織や各専門会議等を統括する役割を担っています。

また、「DEI推進会議等会議」は、各部局からの推薦を受け審査するDEI推進委員によって構成され、部局にはDEI推進会議のため、各部局が抱える実情や取組動向についての発表報告が実施されることとともに、好適な先進事例開拓部会や持続的開拓部会等の議論場の運営等の機能が充実した「インクリージョン」推進本部を設置されました。

7月20日から7月21日に開催された第1回会議では、本学のDEIの推進とDEI推進会議の役割について、各推進委員と共にされました。 評議内容では、性別による性別偏見の実態調査や、性別差別等DEI問題に対する理解の深め方への取組等について、部局等の視点からの質疑意見が交換されました。また、DEIに

よる社会貢献の実現を目指す取り組みとして、本学の「DEI推進会議等会議」は、各部局から代表者が出席する形で、各部局の運営を行っていきます。

さらに、「DEI推進会議等会議」は、今年度から新たに開始した「ペビシターエリート制度」(美濃・葛西・中島)について審議を行い、部局での実現について協力をしました。DEI推進員においては、各部局の取組を所轄部局内で共有いただき、各種制度の運営の中での理解・実現の取組を計りましたとともに期待して

このように、「[DEI]推進会議等会議」と「[DEI]推進会議」によって、経営層から下のスタッフや現場からの下のアッパー、双方に向のダブルオーバーラップされる形で、本学の「DEI推進会議」の実現に向けて

The image shows the front page of the DEI Newsletter for August 2024. The title 'DEI NEWSLETTER' is at the top left, with the number '08' in a green circle to its right. The date '2024 August' is also present. There are several articles with QR codes and QR codes for the newsletter's social media pages. A circular seal for 'THE UNIVERSITY OF HOKKAIDO' is in the top right corner.

<https://www.dei.hokudai.ac.jp/sup-program/various-data/newsletter/>

上位職登用

女性教員の採用促進策「35%ルール」の導入

本学では、2028年までに女性教員の在職比率を23%以上とする数値目標を掲げています。この数値目標の達成に向けて、女性教員の採用比率を35%以上とする「35%ルール」を2025年度から実施することを決定しました。

公募への応募を促す北大ガイドマップ制作

本学公募への応募を促すことを目的に、女性研究者が北大への応募を検討される際に仕事や生活の具体的なイメージを持っていただけるよう、札幌キャンパスの研究環境や、キャンパス周辺地域の生活情報等をまとめた「北大ガイドマップ」を新たに作成しました。

あわせて、学内に向けて教員の公募～採用に係るガイドライン、公募様式等の提供を行っていく予定です。



2024 年度「女性研究者招へい支援」

本支援は、女性研究者の上位職登用と積極的な採用の促進を目的に、優秀な女性研究者の可視化やネットワーキングの機会として、学外から女性研究者を招へいし実施されるセミナーや研究会、講演会等の実施にかかる経費等の一部を支援するものです。

期間 支援決定後～2025年1月31日（金）

支援対象者 北海道大学に所属する教授・准教授（特任教員含む）

支援件数 3 件

支援内容 女性研究者の招へいに係る旅費、謝金、その他

文部科学省科学技術人材育成費補助金「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」

2024 年度 女性研究者招へい支援 募集要項

1. 趣旨

本学では、令和 5 年度に文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」の採択を受け、女性研究者の上位職登用と積極的な採用の促進に取り組んでいます。

本支援では、優秀な女性研究者の可視化やネットワーキングの機会として、学外から女性研究者を招へいして実施されるセミナーや研究会、講演会等の開催に必要な経費の一部を支援します。

2. 支援内容

1 件あたり 20 万円を上限に補助します。

支援対象となる経費は以下の通りです。

ただし、いかなる場合も飲食物は支援対象外となります。

費目	内容
旅費	女性研究者の招へいに係る旅費 ※本学規定に基づき、原則往復交通費、日当、宿泊費を支給。 但し、当該年度内の移動・宿泊に係る旅費のみを対象とする。
謝金	女性研究者による講演、指導・助言等に対する謝金 ※本学規定に拠る。
その他 (諸経費)	・広報のためのポスター・チラシ、配布資料の印刷費 ・招へい者に対する一時保育室設置に伴う費用 ・セミナー等のオンライン配信に必要となるサービス利用料等 ※一時保育室、オンライン配信等の手配・準備は主催者が行うこと。

※海外からの招へいをご検討の場合には、予めご相談ください。

※申請額は支援額上限に合わせる必要はありません。真に必要な経費のみを計上してください。

3. 支援要件

- 女性研究者を講師として招へいし行われるセミナー等であること
- ロールモデルとなる女性研究者の可視化に資する取組であること
- 招へいに際し、セミナー等とは別に、申請者や開催するセミナー等の関係者、所属部局の執行部や DEI ワーキンググループメンバー等と当該女性研究者との DEI に関する意見交換等の機会を設けること。出席者やテーマ・内容については、所属部

<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/24582/>

研究力向上とリーダー育成

研究活動と女性リーダー活躍の両立のための補助人材支援

本支援は、大学の管理運営や社会貢献等、学内外の要職に就く北海道大学に所属する女性研究者に対して、研究活動と社会貢献活動を両立し、女性リーダーとして活躍できるよう、研究者の補助を行う人材の雇用経費を支援するものです。

期間 支援決定後～2025年2月28日（金）

対象者 北海道大学に所属する女性の教授・准教授（特任教員含む）

支援者数 12名（追加募集分含む）

支援内容 補助人材雇用経費

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」

2024年度

「研究活動と女性リーダー活躍の両立のための補助人材支援」募集要項

ダイバーシティ・インクルージョン推進本部

1. 概要

本学の女性研究者の割合は、これまで行ってきた取組によって増加傾向にありますが、国の掲げる目標値や他機関の割合に比べると未だ低く、上位職においては特に少ない状況にあります。「女性リーダー育成型」事業では、女性研究者の上位職登用を推進することを目標に掲げていますが、現状では様々な要職等の役割を数の少ない女性研究者で担っており、各部局のヒアリングにおいて一人一人の負担が大きいことに対する懸念の声をいただいております。

このため、本支援では大学の管理運営や社会貢献等、学内外の要職に就く女性研究者に対して、研究活動と社会貢献活動を両立し、女性リーダーとして活躍できるよう、研究者の補助を行う人材の雇用経費を支援します。

2. 支援対象期間

2024年4月1日～2025年2月28日

3. 支援対象者と支援金額

次に該当する研究者を支援対象者とし、補助人材雇用経費の支援を行います。

支援対象者	支援上限額	採択者数
◆女性リーダー活躍支援 ・本学の女性の教授・准教授（特任教員含む） ・特に、大学の管理運営や社会貢献等、学内外の要職 ^{*1} を務める ことに伴う業務等によって研究時間を十分に確保することが 困難な研究者	180万円	6名程度 (予定)

^{*1} 「要職」…本学もしくは部局執行部における役職（副学長、副理事、総長補佐、研究院長、副研究院長、評議員、代議員等）、日本学術会議や学会における役職（理事長、理事、委員会・分科会委員、連携会員、委員長・副委員長等）、国・地方自治体等の審議会委員等における職とし、年単位の長期にわたり務める必要があり継続的に業務負担が生じる職、他機関等からの依頼や選出によって任命される職を指す。

補助人材の雇用について

補助人材の雇用種別

雇用できる補助人材は技術補助員またはRAとします。

※他の資金（外部資金、大学運営費等）との合算による雇用は原則不可となります。

但し、月単位に期間を分けて、充当する予算を分けることをご希望の際には、予めご相談ください。

<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/23669/>
(追加募集) <https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/25073/>

女性の学生及び大学院生向けキャリアイベント開催支援

本支援は、女性の学生及び大学院生が自身のキャリア形成について考える機会を提供するとともに、女性の博士課程への進学を後押しすることを目的に実施されるセミナー等の開催に対し、必要な経費の一部を支援するものです。

期間 支援決定後～2025年1月31日（金）

対象者 北海道大学の部局、学科、部署等、または教員のいずれか

支援件数 3件

支援内容 セミナー等の実施に必要な経費

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」

2024年度女性の学生及び大学院生向けキャリアイベント開催支援 募集要項

【概要】

本学では、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」における行動計画の一つに「各人のambitionに寄り添った女性研究者リーダーの育成」を掲げ、博士学生を含む若手研究者のキャリア形成支援に取り組んでいます。

本支援では、当該事業の一環として女性の学生及び大学院生が自身のキャリア形成について考える機会を提供するとともに、女性の博士課程への進学を後押しすることを目的に実施されるセミナー等の開催に対し、必要な経費の一部を支援します。

【支援内容】

本プログラムは、本学の女性の学生及び大学院生を対象に学内で開催される上記目的に資するセミナー等の実施に必要な経費のうち、1件あたり15万円を上限として支援します。

【支援要件】

以下を満たすセミナー、ワークショップ等が支援の対象となります。

- 本学の女性の学生及び大学院生に向けた、キャリア形成や博士課程進学に資するセミナー等であること（単なるゼミや研究会、学会等の一環として行われるものは不可）
- 主な参加対象者は本学の女性の学生及び大学院生であること。ただし、若手研究者や男性の参加を妨げないものとする。
- 多様な女性のロールモデル（他大学・海外研究機関や企業・研究所等で活躍する研究者や、博士・修士の学位を持つ起業家など）を講師に迎え行われるセミナー等であること。ただし、女性ロールモデルや女性研究者のパートナーである男性ロールモデルの提示を妨げないものとする。
- 講師となるロールモデルの選定にあたってはジェンダーバランスを考慮すること（女性の割合を高めるよう努めること）
- セミナー等の効果を鑑み、ロールモデルの人数に対する参加者人数のバランスに留意すること
- 実施主体は、部局、学科、部署等、または教員のいずれかとすること
- 2025年1月31日までに開催される企画であること
- ダイバーシティ・インクルージョン推進本部（以下、「DEI推進本部」という。）を当該企画の共催とすること
- DEI推進本部が実施している他の支援で既に採択されていないものであること

「上位職スキルアップ研修： 女性研究者のためのリーダーとして『話す力』”実践編”」開催

日付 2024年6月28日（金）

場所 北海道大学中央キャンパス総合研究棟1号館

6月28日（金）、女性研究者のリーダーシップやキャリアアップの向上を支援する研修として、「女性研究者のためのリーダーとして『話す力』”実践編”」を開催しました。2月に“理論編”として実施した研修の第2回目の開催となり、6名の参加者がありました。

講師には、前回に引き続き『最強リーダーの「話す力』』（ディスカヴァー・トゥエンティワン社）の著者で、大学学長や政治家、経営者などエグゼクティブクラスのスピーチコンサルタントを務める矢野 香先生（長崎大学・准教授）を講師にお迎えし、リーダーに求められる“話す力”について学ぶ事を目的として開催しました。

はじめに矢野先生から、前回の復習としてリーダーの話し方は別スキルであるという前提について、社会で求められる「話す力」を3つの階層ごとにご説明されました。

続いて、各参加者の社会的な見え方へのアドバイスが行われ、具体的なリーダーの話し方として、自分の個性を印象づける方法、メッセージ性をはっきり出し伝える方法について、著名人のスピーチを事例にリーダーズスピーチの作り方について学びました。

参加者は実際のスピーチ場面を想定した個人ワークに取り組み、参加者同士のフィードバックも交えながら、大変盛会裏に終えることができました。



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/24866/>

理系女子学生・院生キャリアデザインセミナー「自分らしい、 ありたい姿を考えよう～ロールモデルとの対話から考える～」開催

日付 2024年7月16日(火)

場所 北海道大学学術交流会館

7月16日(火)、理系女子学生・院生キャリアデザインセミナー「自分らしい、ありたい姿を考えよう～ロールモデルとの対話から考える～」を開催しました。北海道大学 学術交流会館にて対面で行い、14名が参加しました。

対話セッションではアクセンチュア株式会社の4名の社員の方がロールモデル話者（以下、ロールモデル）として、グループ分けされた参加者が座るテーブルにそれぞれ加わり、現在の会社に就職するまでに経験された葛藤や紆余曲折のエピソードを語っていただきました。その後、学生が将来について悩んでいることや今、抱えている課題について率直に相談や質問をし、ロールモデルから将来や人生における考え方のアドバイスを受けました。

本キャリアデザインセミナーを終えて、学生からは、

「将来について、身構えていた自分がいたけど、先輩方の話を聞き、もう少し気楽に考えてもいいことがわかった！」、「将来何をしたいのか、自分の軸を持つことが大切だと感じた！」「将来に向か、今、もっと頑張らなければ！と思えるきっかけとなった。」等の声がありました。

また、ロールモデルからは、「参加された皆さん、意識が高くて素晴らしい！」と、今後の活躍を楽しみにされるお言葉をいただきました。

対話セッションは、学生とロールモデル、お互いに話が途切れることなく盛り上がり休憩時間中も時間を惜しむように続きました。学生の熱心な姿勢にロールモデルも真摯に応えていました。



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/24692/>
<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/24894/>

「第1回北大女性教授ネットワーキングの会」開催

日付 2024年8月2日（金）

場所 北海道大学 D-RED 棟

8月2日（金）、第1回北大女性教授ネットワーキングの会を、本学D-RED棟カフェラウンジにて開催し、計27名（オンライン含む）が参加しました。

本会は、昨年度実施した「加速アクションプラン」によって増加した女性教授を対象に、まだまだ数が少ない女性上位職者が孤立することなくそれぞれの能力を発揮して活躍できるよう、学内のネットワーク強化を目的に、ダイバーシティ・インクルージョン推進本部(DEI推進本部)女性研究者育成支援部門の教員が企画・運営を行いました。

女性リーダーとして、どのように研究、教育、そして管理運営に携わっていくことが必要か、その経験を共有し、互いに学び合える機会として、また、多様な学問領域の研究者が集まる場とし、異分野融合研究への発展にもつなげるネットワークに資するため、DEI推進本部と創成研究機構データ駆動型融合研究創発拠点(D-RED)が共同開催しました。

第一部では、副学長、D-RED拠点長の長谷山美紀 情報科学研究院教授に、「女性大学教員のキャリア形成～研究室運営から大学運営を経験して分かったこと」と題し、ご講演をいただきました。

講演ではこれまで女性研究者として歩んできた道のり、部局長としてどのようにリーダーシップをとってきたか等についてお話があり、参加者からは「リーダーとしてのビジョンが非常に明確で感銘を受けました」、「キャリアの各々の段階での課題や対応方法などを伺うことができて多くの刺激を受けました」等の感想がありました。

女性リーダーとしての在り方や、今後どのようにキャリア形成していくか等、より具体的に考える機会になったことと思います。

また、第二部では、女性研究者育成支援部門長の小川美香子 薬学研究院教授が司会となり、「研究室運営（チーム運営）の課題と改善」をテーマにパネルディスカッションが行われました。参加者からは「様々な仕事、役割がある中で、どのように限られた時間を有効活用して克服してきたか」「まだまだ少ない女性研究者がネットワーキングを図るこのような機会は重要である」といった質問や意見が出され、会場全体で活発な意見交換がなされました。

終了後には懇談会も行われ、部局や研究分野が異なるもの同士が一堂に会する貴重な場となり、予定時間を超過しても終わらないほど、笑顔溢れ会話が弾む会となりました。

今回が初開催となりましたが、参加者からは大変好評をいただきました。DEI推進本部では、今後も本学女性研究者のネットワーキングの会を継続して実施していく予定です。



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/25055/>

国立大学法人北海道大学桂田芳枝賞

- 日付 2024年12月4日（水）
場所 北海道大学事務局棟役員会室

12月4日（水）、本学事務局棟役員会室において「国立大学法人北海道大学桂田芳枝賞」授与式が行われ、第2回受賞者4名に賀金清博総長から顕彰状および報奨金（目録）が授与されました。賀金総長からは、これまでの受賞者の研究・教育等の功績が称えられるとともに、今回の受賞を励みに今後ますます活躍されることを期待しています、との激励の言葉が述べられました。授与式の後には受賞者を囲んでの懇談会が和やかに行われました。

● 第2回受賞者（五十音順）

- 池田 敦子（大学院保健科学研究院・教授）
- 笠井 久会（大学院水産科学研究院・教授）
- 玉腰 晴子（大学院医学研究院公衆衛生学・教授）
- 長里 千香子（北方生物圏フィールド科学センター・教授）





池田 敦子 IKEDA Atsuko

大学院保健科学研究院
教授

博士（医学）（北海道大学）、東京理科大学卒、万有製薬（株）勤務後、北海道大学大学院に進学し修士号、博士学位を取得、環境健康科学研究教育センターにて、2021年より現職。専門は環境疫学、室内環境と健康および出生コホート研究を担当。

このたび桂田芳枝先生のお名前を冠した賞をいただき、大変光栄に思います。幸いこれまでロールモデルとなる素晴らしい女性指導者、先輩、同僚に恵まれ、研究生活を送っていました。桂田先生をはじめとする先人の先生方が切り開き、築いた教育・研究環境をさらに発展させ、大学生・院生・若手研究者が多様性を尊重し、活躍できる環境を醸成することで、この賞をいただいた私の役割だと思っています。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

笠井 久会 KASAI Hisae

大学院水産科学研究院
教授

博士（水産科学）（北海道大学）。日本学術振興会、水産科学研究院助教、准教授を経て2024年より現職。この間、日本水産学会水産学奨励賞、北海道科学技術奨励賞等を受賞。魚介類感染症の防除について研究を行っています。

桂田芳枝先生の名を冠した名誉ある賞をいただき、大変光栄に存じます。これまで支えて下さいました吉水名譽教授はじめ皆様に心より感謝申し上げます。本賞を受賞したことを大きな励みとし、より一層研究と教育に邁進し、社会の発展に貢献できるよう努めて参ります。また、桂田先生のご功績に学び、次世代の研究者が力を發揮できる環境づくりに力を尽くしていきたいと考えております。

玉腰 晴子 TAMAKOSHI Akiko

大学院医学研究院公衆衛生学
教授

名古屋大学医学部卒、名古屋大学、国立看護医療センター、愛知医科大学を経て、2012年より現職。地域で生活する人々の健康問題要因に関する疫学研究を実施。若者を対象に研究を展開する北大CO-NEXTでは2024年度よりプロジェクトリーダーを務める。

研究の道に進む女性が少なかった時代に活躍された桂田芳枝先生のお名前を冠した賞をいただき、大変光栄に存じます。人はそれぞれ違った人格として生まれ育つ以上、多様性は認めるものではなく存在するものとも言えますが、それが認められるために努力をされてきた先人のおかげで今があり、そして未だ途上なのだと思います。賞をいただきながら僭越ですが、DEIを推進する北海道大学が、「女性」を重視しなくて済む時代が来るよう、皆で力を合わせていきたいのです。

長里 千香子 NAGASATO Chikako

北方生物圏フィールド科学センター
教授

博士（理学）（北海道大学）、日本学術振興会特別研究員、北方生物圏フィールド科学センター准教授を経て、2020年より現職。海藻の受粉、発生、生活環制御に関する研究を行っている。日本植物学会奨励賞等を受賞。2019より室蘭臨海実験所所長。

桂田芳枝先生のお名前を冠した賞を頂戴し、誠に光栄に思いました。私が所属する北方生物圏フィールド科学センターは、教員が主に地方に駐在し、施設とフィールドの管理をしながら、日々、研究・教育に打ち込んでいます。地方施設は札幌キャンパスとは異なる課題が多く抱えております。教職員とそこで学ぶ学生が、恵まれたフィールドを目の前に思いのままに活躍できる環境整備の実現に尽力していきたいと思います。

※ 50 頁

「Woman's Career Canvas ~女子学生が描くキャリアの未来図~」 開催

| 日付 2025年3月3日 (月)

| 場所 北海道大学オープンイノベーションハブエンレイソウ

3月3日(月)、女子学生を対象としたキャリアパスイベント「Woman's Career Canvas ~女子学生が描くキャリアの未来図~」(ダイバーシティ・インクルージョン推進本部、大学院教育推進機構、共同プロジェクト拠点共創教育センター 共催)を、北大エンレイソウで開催しました。

本イベントは文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）」の一環として、女子学生・大学院生の博士進学支援を目的に実施したもので、約20名の女子学生・大学院生が参加しました。博士課程学生の日野 真莉絵さん、宮本 汐里さんによる発表では、大学院への進学を選択した経緯や、博士課程での研究活動等についてお話をいただきました。

また、卒業後の多様なキャリアパスをご紹介いただくため、本学卒業生である2名のロールモデルにご登壇いただきました。企業の製造・流通分野でマネジング・ディレクターとして活躍されている門田 麻子さんからは、働く中で自分のキャリアをどのように考え、実現に向けて行動しているかについてお話をいただき、また子育てとの両立についても語っていただきました。TENSHIN 株式会社代表取締役社長の西山 結美さんからは、修士号取得後に企業で働き起業された経験や、キャリアを考える中でMBA、博士号の取得を目指した経緯等についてお話をいただきました。

イベント後半では登壇者のほか、本学に在籍する研究員や卒業生などロールモデルの方にも加わっていただき、参加した学生・大学院生が懇談する時間を設け、先輩からのアドバイスに熱心に耳を傾けていました。



「第2回北大女性教授ネットワーキングの会」開催

日付 2025年3月10日（月）

場所 北海道大学附属図書館

3月11日（火）、第2回北大女性教授ネットワーキングの会を、本学図書館大会議室（A～C）にて開催し、計28名（オンライン10名含む）が参加しました。

本会は、北大の女性教授を対象に、まだまだ数が少ない女性上位職者が孤立することなくそれぞれの能力を発揮して活躍できるよう、学内のネットワーク強化を目的に、ダイバーシティ・インクルージョン推進本部（DEI推進本部）女性研究者育成支援部門の教員が企画・運営を行いました。

第一部では、スラブ・ユーラシア研究センター 青島陽子教授、大学院地球環境科学研究院 三輪京子教授、大学院歯学研究院 樋田京子教授に「女性教授からの話題提供」と題し、マイノリティである女性研究者として、研究室運営や日々の困りごとをどのように解決すれば良いか、DEIを推進していくために今まで考えたこと等についてお話をいただきました。続く第二部では、女性研究者育成支援部門長の小川美香子薬学研究院教授がファシリテーターとなり、第一部でのお話を元に、参加者によるグループトークと全体共有が行われました。

参加者からは「身近に女性教授が少ない環境にいる私たちにとって、他の分野の多くの人の体験や悩みを共有することは、励みになります」、「ダイバーシティを考える上でも視野が広がり、良い刺激になりました」、「事務補助員の雇用について様々な事例等お話を伺えてよかったです」等の感想がありました。

今回が2回目の開催となりましたが、初めて参加される方も多く、部局や研究分野を越えて交流を深める貴重な場となり、終了後もお話を尽きず大変盛会裏に終えることができました。



女性研究者インタビューシリーズ「LILAS（リラ）」発行

フロントランナーとして活躍している女性リーダー（Leader）を紹介する女性研究者インタビューシリーズ LILAS。リラはフランス語で札幌の花としても知られるライラック（Lilac）を意味します。 インタビューの内容から着想を得た植物のアレンジメントとともに、植物の持つ力強さやしなやかさ、多様性などのメッセージを媒介させながら、オリジナルインタビューシリーズとして発信しています。



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/lilas/hida/>



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/lilas/tsuji/>



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/lilas/kuroiwa/>

意識啓発

DEI 公開講座 開催 (大学院共通科目「SOGIESC 概論：セックス・ジェンダー・セクシュアリティ研究入門」)

- 日付 第6回 2024年11月13日(水)
第7回 2024年11月20日(水)
- 場所 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟

2024年度2学期開講の大学院共通科目「SOGIESC 概論：セックス・ジェンダー・セクシュアリティ研究入門（2024）」（責任教員：瀬名波栄潤（文学研究院 人文学部門表現文化論分野 教授））では、セックス・ジェンダー・セクシュアリティに関する文理諸分野の研究状況について、各回多様なテーマで講師が講義を行っています。この内、学外から講師を招へいした2回を、ダイバーシティ・インクルージョン推進本部共催「公開講座」として開催しました。



開講日	内容	講師
11/13	クィア・フェミニスト映画批評	菅野 優香 同志社大学 グローバル・スタディーズ研究科 教授
11/20	アジアのLGBTQ ～台湾同性婚法の誕生までとその後	鈴木 賢 北海道大学 名誉教授、明治大学法学部 教授

<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/25783/>

DEI キャンペーン「DEI (Diversity, Equity, and Inclusion) の視点からみる大学のイノベーション創出とグローバルリーダーの育成」特別講演会開催

日付 2024年11月22日(金)

場所 北海道大学百年記念会館

ハイブリッド形式で行われた特別講演会には、総勢 93 名が参加しました。講師の我喜屋 まり子氏（京都大学経営管理大学院 客員教授）のグローバルな経験に基づいた、今後の日本の大学に求められる組織改革、現在の世界における日本の立ち位置と今後把握すべき DEI の視点、学生への熱いメッセージを頂戴し、講演後には予定時間を超過するほど多くの質問にお答えいただき盛況に終了しました。



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/25731/>

フィンランド・オウル大学訪問調査

- 日程 2024年11月23日(土)～11月28日(木)
- 訪問先 オウル大学(フィンランド・オウル市)
- 訪問者 DEI推進本部副本部長ほか計5名
- 内容 オウル大学におけるDEIの先進的な取組、プログラム等についての調査

世界経済フォーラム「ジェンダー・ギャップ指数」(GGI)において、2024年世界第2位のフィンランドから、大学におけるジェンダー平等をはじめとするDEIの取組を学ぶことを目的に、2001年に本学と大学間交流協定を結んでいるオウル大学を訪問し、同大学の先進的な取組やプログラム等についてヒアリング調査を行いました。調査では、オウル大学のDEI運営体制やジェンダー平等等に関する行動計画、DEIに関連する各部署等の具体的な支援等の取組、EUプロジェクトによる「RESET」プログラムの実施状況等について説明を受けるとともに、男女の区別のないユニセックストイレ等の施設見学や大学のハラスメント対応に関する講義に参加し、情報を収集しました。今後、本学にオウル大学から講師を招へいし、ワークショップを開催すること等を計画しています。



DEI キャンペーン「障害者週間特別講演会 『耳が聞こえなくたって～難病の子供を持ち、大企業を辞めて起業するまで～』」開催

日付 2024年12月4日(水)
場所 北海道大学クラーク会館

12月3日から9日までの「障害者週間」の期間に合わせ、特別講演会「耳が聞こえなくたって～難病の子供を持ち、大企業を辞めて起業するまで～」を開催しました。合計75名の学生・教職員、全国各地からの高等教育機関関係者等が参加しました。

今回講師を務めていただいた牧野友香子氏は、先天性の重度難聴があり障がいをもつ当事者でもありますが、小中高校は特別支援学級ではなく友人と同じ通常学級で学び、その後大学に進学され、一般採用枠で企業に就職をされたご経歴をお持ちです。その後、難聴児を支援する会社を起業され、現在は拠点をアメリカに移しキャリアを積まれています。

講演では、小中高の学習環境とは異なる大学で生じる問題や、企業に就職し仕事をする中で気づいた課題などについて、ご自身の経験を交えながらお話をいただきました。

参加者からは、「ご本人の経験談は、障がいの有無にかかわらず、人生に役立つものだと思いました。失敗を恐れず、毎日を過ごしたいと思えました。」「(障がいの障壁を予め減らせるようにと、保護者や周囲の人が先回りをして配慮やサポートをしてしまうという点について) 先回りせず本人に経験してもらってから、本人に選択してもらうというのも本当に大切なことで、気付かされることが多かったです。」「努力では埋められない、聞こえる人が無意識に入手している情報について、自覚しないといけないことを学びました。」「聞こえなくたって牧野さんのように前向きに生きられることがよくわかり、元気をいただけました。」などの、たくさんの感想を頂きました。



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/26216/>

FD 講演会

「東京科学大学（理工系）に於ける女性活躍への施策と課題」共催

日付 2025年1月27日（月）

場所 オンライン（Zoom）

「入試における女子枠の設定」「女性限定公募」をメインテーマとする FD 講演会を、理学院宇宙物理学専攻・物性物理学専攻との共催で、1月27日にオンラインで開催しました。

講師に東京科学大学の桑田 薫副理事をお迎えし、「東京科学大学（理工系）に於ける女性活躍への施策と課題」と題したご講演をいただき、本学教職員 72 名が参加しました。

桑田副理事ははじめに、東京科学大学の女性活躍に向けた環境整備の取組を紹介された上で、DE & I を実現するには組織環境の整備だけでなく組織の方向付けが重要だと述べられました。

その後、東京科学大学で行われている「入試女子枠（総合型選抜、学校推薦型選抜）」と「女性限定教員公募」について、導入に至つた経緯や課題、導入後のフォローアップについて具体的な例を交えながらお話をいただきました。特に、学内に対し丁寧な説明や研修を行うことで周囲の理解を促進し、共通意識を形成していく必要性を強調されました。DE&I が浸透することで一人一人がいきいきと自分の力を発揮できる環境になれば、組織全体としてのパフォーマンスが向上し、それがイノベーションの創出に繋がり、社会へのインパクトを生み出すことができる、と述べられていたのが印象的でした。

法的な注意点や財源の確保等、導入に際し検討された課題や対応などのお話も多くお聞きすることができ、特に実施について現在検討している本学教職員にとっては大変参考となるご講演となりました。

講演会終了後のアンケートでは「日本の現状を踏まえると、女子枠の設定と学生向けの説明（特に男子学生）が重要であり、それを継続することで社会全体の意識改革につながるもの、と理解しました。」、「採用する（主に）男性教員の意識改革が特に必須であると感じました。」等、様々な感想が挙がりました。また、「所属部局でも検討中ですが、広報に加えて、法律面やフォローアップなどの検討も重要なことを理解しました。」等、導入を検討されている部局の方々からの声も寄せられました。



北海道大学 DEI FD講演会

東京科学大学（理工系）に於ける 女性活躍への施策と課題

2025年1月27日

東京科学大学 副理事（DE&I担当）

桑田 薫



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/26605/>

研修・マテリアルの制作

● DEI FD 研修動画

2025年度から予定されているDEIに関するFDの必修化に向けて、DEI推進本部教育推進部門と北海道大学オープンエデュケーションセンターの協力の下、本学におけるDEI推進と「北海道大学ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言」について理解を深めることを目的とする第1回目の動画の制作を進めました。

● DEI 広報マテリアル

Webサイトや広報誌等の作成時において、DEIの観点から多様性に配慮した言葉やイラスト等の様々な表現について学び、理解を深め、今後学内から発行・発信される媒体の制作において参考としていただくことを目的に、DEI広報マテリアルの作成を進めました。

● 多様な性（SOGIESC）に関するガイドライン

北海道大学の多様な性に関する基本理念および基本方針を示すとともに、これに基づく本学の就学・就業環境の整備や規則・規程等の対応について具体的な情報や内容をまとめたガイドラインの作成を進めました。

2

各部門の取組



環境整備推進部門

ベビーシッター利用育児支援

期間	2024年6月3日（月）～2025年3月31日（月）
申請対象者	北海道大学の教職員（対象児童の保護者）
支援内容	家庭内における保育、家庭と保育等施設の間の送迎

北海道大学で勤務する教職員の育児と就労を支援するために、ベビーシッターサービス利用時に使用できる割引券を発行しました。

本事業は「こども家庭庁」の委託を受けた公益社団法人全国保育サービス協会が実施している「ベビーシッター派遣事業割引券」を利用して行うものです。この割引券を使用してベビーシッターサービスを利用すると、1日の利用料金から割引を受けることができます。

2024年度ベビーシッター利用育児支援募集要項

北海道大学で勤務する教職員の育児と就労を支援するために、本学では、ベビーシッターサービス利用時に使用できる割引券を発行します。

本事業は「こども家庭庁」の委託を受けた公益社団法人全国保育サービス協会（以下「実施団体」という。）が実施している「ベビーシッター派遣事業割引券」を利用して行うものです。この割引券を使用してベビーシッターサービスを利用すると、1日の利用料金から割引が受けられます。

本事業は、通常分割引券と多胎児分割引券の以下の2つとなります。本年6月3日より申し込み受付を開始しますので、育児に携わる教職員の方々は、ぜひご活用ください。

※割引券は電子による発行となります。ご利用にはQRコードが使える端末が必要です。

①ベビーシッター利用育児支援事業（通常分割引券の利用について）

利用対象者	◆北海道大学の教職員（非正規職員を含む。学生は不可。）であり、対象児童の保護者であること。 ※北海道大学の共済組合または社会保険加入者に限る。 ※利用者は本人が出勤日等でかつ配偶者の就労、病気療養、求職活動、就学、職業訓練等、または、ひとり親家庭であることによりサービスを使用しなければ就労することが困難な状況にあること（職場への復帰を含む）が必要。
対象児童の年齢	◆0歳から小学校3年生までの児童（利用対象者と同居していること） ◆健全育成上の世話を必要とする（身体障害者手帳・療育手帳等の交付を受けている）場合は、小学校6年生までの児童も対象となります。 ◆職場への復帰のためのサービス利用の際は、義務教育就学前の未就学児が対象となります。
割引額	◆1日（回）対象児童1人につき2枚まで（1枚につき2,200円、最大4,400円） (例 きょうだいが2人の場合、1日4枚) ・利用料金が1回につき使用枚数×2,200円以上のサービスを対象とする。 ・会費、交通費、キャンセル料、保険料等のサービス提供に付随する料金は含まれない。 ・助成限度額を超える利用料金は利用者負担



北大×JAL「さっぽろレインボープライド2024」パレード参加

日付	2024年9月15日（日）
場所	札幌市内（大通3丁目～大通公園～札幌時計台～赤れんが庁舎～札幌駅前通り）

9月15日（日）に行われた「さっぽろレインボープライド2024」パレードに、本学の学生及び教職員が参加しました。今回初の試みとなった同パレード参加は、2022年に本学との包括連携協定を締結した日本航空株式会社（JAL）からのご提案により実現したもので、ダイバーシティ・インクルージョン（DEI）推進本部と社会共創部社会連携課が行った学内募集に応募いただいた18名とJAL社員の方々が合同チームとしてパレードを歩きました。

今回で24回目を迎える「さっぽろレインボープライド」（主催：さっぽろレインボープライド実行委員会）は、LGBTQなどの性的マイノリティの方々に対する差別の解消や性の多様性を認め合う社会の実現を目指し、毎年9月に開催されるイベントで、当事者の方々はもちろん、理解し支援する人（アライ）が共に参加するものです。

今年のパレードには全体で1,000人以上が参加され、JALと本学は「パッションフロート」という一番最初に歩くグループに配置され、性的マイノリティへの理解促進に向けたメッセージが流れる先導車の後に続いて行進しました。

今回参加された方の中には初めてパレードを歩くという方も多く、周囲の方に倣って「ハッピープライド！」と元気な掛け声をかけったり、沿道に向けて手を振るなどしながら札幌の街中を練り歩きました。沿道や道行く車中の方からは、パレードの行列に向けて温かい声援を送ってくださる方も多く、参加者からは「市民同士に一体感が生まれ、とても良い雰囲気のパレードだった」との感想が聞かれました。

当日は朝から降っていた雨もパレード前には上がり、LGBTQプライドのシンボルであるレインボーカラーのフラッグが一層輝くパレードとなりました。

大通3丁目を出発し、大通公園、札幌時計台、赤レンガ庁舎、札幌駅前通りを巡る約3kmのコースを歩き終え、JALと北大の合同チームの皆さんで写真撮影を行い終了しました。パレード参加を通じて学生同士の新たな交流にも繋がるなど、性的マイノリティへの理解とサポートの広がりを共有する大変有意義な機会となりました。



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/25347/>

北海道大学リカレント教育推進部公開シンポジウム「誰もがつながり合う共生のまちづくり～演劇教育が創る未来のビジョン～」共催

日付 2024年12月14日（土）

場所 北海道大学クラーク会館

北海道大学リカレント推進部との共催で、公開シンポジウム「誰もがつながり合う共生のまちづくり～演劇教育が創る未来のビジョン～」を12月14日（土）クラーク会館講堂で開催しました。

本シンポジウムは、リカレント推進部が主となり採択を受けた札幌市の「令和6年度大学と民間企業等との連携による公益的事業の推進事業補助金」における「札幌市の劇団他と連携した演劇的手法による地域課題解決に取り組むプロジェクトマネージャー養成事業」の一環として実施したものです。

シンポジウムでは、特別講師に作家・演出家の鴻上尚史氏を招へいした基調講演「コミュニケーションのヒント」、障がい者雇用において労働大臣賞を受賞している株式会社アイワードの代表取締役社長奥山敏康氏による情報提供等が行われました。



北海道大学川柳大会

北海道大学統合 URA 本部との共催で「北大川柳大会 2024」(北大川柳大会実行委員会) を開催しました。「北海道大学と私」をテーマに、北大の魅力や、北大で見つけた共有したいことから日頃の小さな悩みまで様々なことを詠んだ川柳を募集し、600 句を超える応募がありました。選ばれた特別賞を含む優秀作品は今後、統合 URA 本部のウェブサイト上で発表される予定です。



女性研究者育成支援部門

アカデミックファンタジスタ

北海道大学の研究者が知の最前線を出張講義や現場体験を通して高校生などに伝える事業「アカデミックファンタジスタ」は、内閣府が推進する「国民との科学・技術対話」事業の一環として、北海道新聞社の協力のもと 2012 年から継続的に実施しています。今年度は、29 名の研究者のうち 9 名の女性研究者が参加しました。DEI 推進本部は今後もこのような機会を活用して、北海道内の高校生に向けて本学の女性研究者ロールモデルを積極的に発信し、特に女子生徒の本学への進学を後押ししていきます。



<https://www.hokudai.ac.jp/researchtimes/2024/08/academic-fantasista-202429.html>

教育推進部門

「あつまれ、未来の女性法律家!!一弁護士・裁判官・検察官に会ってみよう!」後援

日付 2024年8月5日（月）

場所 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟（W棟）

北海道大学法学部・大学院法学研究科・法科大学院・法学研究科附属高等法政教育研究センター主催のイベント「あつまれ、未来の女性法律家！！一弁護士・裁判官・検察官に会ってみよう！」を後援しました。

第一線で活躍する女性法律家の方々に、仕事の内容や魅力、私生活とキャリアの両立、さらにはどんな中高生時代を過ごしていたのかまで、様々な疑問に直接答えていただく貴重な機会となったようです。



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/24759/>

「ダイバーシティ・インクルージョンに関する図書展示」共催

期間・場所 2024年12月16日(月)～2025年1月31日(金)

北海道大学付属図書館北図書館

2025年2月3日(月)～2025年3月14日(金)

北海道大学付属図書館本館

DEI 推進本部は「ダイバーシティ&インクルージョン」について深く知っていただくため、附属図書館と共に、附属図書館本館・北図書館に特設コーナーを設置し関連図書の展示を行いました。

また、展示に先立ち、本学の教職員・学生を対象に、テーマに合わせた推薦図書の募集を行いました。

● 今年度の推薦図書一覧

北図書館	<ul style="list-style-type: none">超人ナイチンゲール（シリーズ ケアをひらく）なぜ東大は男だらけなのかわたしたち、体育会系 LGBTQ です 9人のアスリートが告白する「恋」と「勝負」と「生きづらさ」サマータイム・ブルース 新版生理ちゃん愛と差別と友情と LGBTQ+: 言葉で闘うアメリカの記録と内在する私たちの正体3万人の大学生が学んだ恋愛で一番大切な“性”のはなし
本館	<ul style="list-style-type: none">氷室冴子とその時代 増補版それ、フェミニズムに聞いてみない？：日々のもやもやと一緒に考えるフェミニスト・ガイドLGBTQ+ 性の多様性はなぜ生まれる？：生物学的・医学的アプローチトランスジェンダー入門教養としての精神医学ものの言いかた西東アイヌがまなざす：痛みの声を聴くとき



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/25908/>

「体験型科学実験教室：『感じて』動くロボットを作るには」開催

日付	2024年12月14日（土）
場所	北海道大学大学院情報科学研究院
対象	中学生

DEI 推進本部主催、公益財団法人 KDDI 財団・大学院情報科学研究院共催で中学生対象体験型科学実験教室「『感じて』動くロボットを作るには」を実施しました。札幌市内の中学校に案内を出したところ定員を超える申し込みがあり、抽選にて選ばれた 10 名と保護者が参加しました。

イベントでは最初に小林孝一教授（大学院情報科学研究院）による内容説明を受けた後、車輪型移動ロボットを作成しました。ロボット完成後、TA の大学院生によるサポートを受けながらロボットのプログラムを作成し、指示通りに紙に書かれた黒い線の上を外れないで動くよう調整を繰り返しました。初めは緊張気味に見えた中学生の皆さんでしたが、他の参加者や TA の大学院生と協力するうちに段々と和気あいあいとした雰囲気に。課題を成功させようと奮闘する姿が印象的でした。

終了後アンケートでは「自分でできかいをうごかす経験は中々ないので楽しめた」「うまくまわることができた時のたっせいかんがすごかった。」等の声があり、皆さんの楽しみながら参加されていた様子がうかがえました。



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/26331/>

「体験型科学実験教室：数字で4次元が見える～多面体の形を数える」 共催

日付 2024年12月15日（日）

場所 北海道大学理学部

対象 中学生

大学院理学研究院数学部門主催、公益財団法人 KDDI 財団・DEI 推進本部共催で中学生対象体験型科学実験教室「数学で4次元が見える～多面体の形を数える」を実施しました。札幌市内の中学校に案内を出したところ定員を超える申し込みがあり、抽選にて選ばれた14名と保護者・教員が参加しました。

はじめに、松本圭司教授（大学院理学研究院数学部門）から、いくつかの多面体の構造について説明を受けた後、配られた展開図から組み立てる課題が出され、中学生はともに参加した保護者や教員と一緒に作成しました。実際に作った多面体を参考に、構成する線や面について三次元の構造を理解したあとは、数学を使って四次元のモノの見方を考えました。

なかなかイメージすることができない四次元の世界に大人達が苦労する中、中学生はTA学生によるサポートも受けながら、無限に作ることが可能となる多面体を数える課題に熱心に取り組みました。

終了後アンケートでは「二次元→三次元→四次元の拡張のつながりがとても美しいと感じた」（中学生）、「こういったイベントに参加すること自体が、子どもたちにとって良い刺激になります！」（保護者）等の声があり、有意義な時間を過ごされた様子がうかがえました。

北海道大学大学院理学研究院数学部門主催
科学実験教室

数学で4次元が
見える

～多面体の形を数える

講師：松本圭司
(北海道大学大学院理学研究院数学部門 教授)

2024.12.15 (日)
13:00~16:30
会場：北海道大学理学部4号館 4-501
(札幌市北区北10条西7丁目)

参加費：無料
持ち物：筆記用具
対象：中学生（15名まで）とその引率者

申込み方法
下記URLから11月30日までに登録してください。申し込み多数の場合は抽選とさせていただきます。
webページ：<https://www2.aci.hokudai.ac.jp/dei/mthivevent/1263>
QRコードからもお申し込みください。

問い合わせ
KDDI財団
北海道大学DEI推進本部 / 会場：KDDI（旧）北海道総支社



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/26348/>

「体験型科学実験教室：北大工学部まるごと体験ツアー」共催

日付	2024年12月26日（木）
場所	北海道大学工学部
対象	中学生

工学部において、工学部主催、公益財団法人 KDDI 財団・DEI 推進本部共催による中学生対象体験型科学実験教室「建物もやつて研究も広すぎる！北大工学部まるごと体験ツアー」を実施しました。札幌市内の中学校に案内を出したところ定員を超える申し込みがあり、抽選で選ばれた 38 名と保護者が参加しました。

イベントでは最初に松浦妙子教授（大学院工学研究院）による工学部の紹介・講義体験を受けた後、「材料力学」「原子力環境材料学」「医工学」の 3 チームに分かれて実験を体験しました。工学部食堂で昼食を取り、午後からは LINAC（直線加速器）の説明を受け、超高圧電子顕微鏡の見学を行いました。最後は中学生・保護者に分かれて教員・大学院生との懇談の時間が設けられ、実験教室は盛況のうちに終了しました。

朝から夕方まで盛りだくさんの内容で、工学部が行っている幅広い研究の一部を目で見て体験することが出来たかと思います。

参加者からは「進路を選択する上で、とても貴重な経験ができました。」「学生さんや先生方との懇談がとても楽しかったです。ざっくばらんにお話できて良かったです。」等の声があり、充実した時間を過ごされた様子がうかがえました。



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/26368/>

「中学生対象イベント：獣医学部の世界へようこそ・研究体験ワークショップ」共催

日付	2025年2月1日（土）
場所	北海道大学獣医学部
対象	中学生

獣医学部において、獣医学部、ダイバーシティ・インクルージョン推進本部、One Health リサーチセンター共催による中学生対象イベント「獣医学部の世界へようこそ・研究体験ワークショップ」を実施しました。札幌市内の中学校にご案内したところ定員を大幅に超える申し込みがあり、抽選で選ばれた 29 名と保護者が参加しました。

イベントでは最初に岡松優子教授（獣医学研究院）による獣医学部の紹介・全体説明があり、その後参加者は 3 つのチームに分かれ「血液中の細胞を見てみよう！」「ヒグマを捕まえて調べよう！」「見えない分子を見てみよう！」の各教室を順に周りワークショップに参加しました。

「血液中の細胞を見てみよう！」では、顕微鏡の使い方を習い、肉眼では見えない血液の中の色々な細胞を見つけ、その特徴について学びました。

「ヒグマを捕まえて調べよう！」では、熊に麻酔をかけるための吹き矢や、熊の歯から年齢を調べる等を体験し、野生動物の調査について学びました。

「見えない分子を見てみよう！」では、遺伝子やタンパク質等の小さな分子を見るため、マイクロピペットを使って DNA の抽出等を体験し、動物の命の仕組みを学びました。

その後は質問コーナーが設けられ、中学生からは「調査で得られたデータはどうしているのか」「なぜ獣医学部に入ったのか」等、教員や学生に対し様々な質問がありました。会の最後には全員で記念撮影を行い、イベントは盛況のうちに終了しました。

北大獣医学部 体験スクール2025
動物のお医者さん…だけじゃない！
獣医学部の世界へようこそ 研究体験ワークショップ
要事前 申し込み
参加 無料
講師 吉田小林博士准教授・岡松 優子 教授
野鳥調査の生き方を学ぶ! 北大獣医学部・日本農業大学
人・動物調査を行なう岡松博士・小林准教授・吉田博士・米澤博士
動物の心臓を学ぶ! 岡松博士・北大獣医学部・日本農業大学
動物のDNAをつくる岡松博士・北大獣医学部・日本農業大学
動物の細胞を見てみよう! 岡松博士・北大獣医学部・日本農業大学
プログラム
動物細胞や実験装置を使って!
実験・被写・検査を体験していただけます。
(動物に触れる体験はありません)
日時 2025/2/1 (土) 13:00~15:30
場所 北海道大学 獣医学部 (札幌市北18条西9丁目)
対象 札幌近郊に住まいの 中学生 定員 30名 (抽選)
応募締切: 2025年1月17日 (金)
https://www.dei.hokudai.ac.jp/www/cover/program_20252025
申し込み方法
北海道大学獣医学部のWebサイトから! 「北大獣医学部体験スクール」で検索
[出展] 北海道大学獣医学部、北海道大学ライラシティ・インクルージョン推進室、北海道大学One Healthリサーチセンター



<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/26620/>

「HAPPY WOMEN FESTA 大学生サミット～私たちが考える！ Well-beingな未来とは～」協力

日付	2025年3月9日（日）
場所	BiVi 新さっぽろ
参加大学	北海道大学、藤女子大学、北海道医療大学
参加学生	馬詰 知佐（医学部医学科） 齊藤 心（総合教育部 理学部化学科） 樋山 詠亮（総合教育部 総合入試文系） 宮本 汐里（獣医学院 博士課程）

HAPPY WOMAN
大学生サミット
～私たちが考える！
Well-beingな未来とは～

参加大学生を募集します！

日時：2025年3月9日（日）
12:00～15:00 予定
会場：BiVi新さっぽろ

テーマは「女性が生き生きと自分らしく働く社会を創るために」
働く女性を取り巻く健康課題とその解決策を徹底討論！
道内企業で行われている女性の健康支援等の取り組みについても発表。
男女がより良く生きられる社会を目指して…解決策のアイデアを北海道に提言！

■当日のプログラム（予定） 約130分

- 第一回 学生ディスカッション 各課題（例：月経・女性特有のがん・更年期）について学生からの発表とディスカッション
- 企業やコメンテーターと共に解決策を考える（90分）
- 第二回 企画・実現セッション 第一回で取り上げた「女性活躍（健康）支援の取り組み」等
道内企業の代表者（3社）とコメンテーターを交えてトーク、学生からの質問も（30分）
- まとめ（10分）

— **GOAL 1** 後日、サミットで出たアイデアを「北海道女性支援室」に提言！

▶ 発表までの活動（予定）
・参加決定後、一度学内でオリエンテーションを行います。
・その後、チームで課題に取り組み、発表内容をまとめます。

3月8日の「国際女性デー」にあわせ、全国各地で「HAPPY WOMAN FESTA 2025」が開催されました。札幌では3月8日（土）～9日（日）の二日間に渡って「HAPPY WOMAN FESTA 2025 HOKKAIDO」として様々なプログラムが行われました。

今年初開催された『HAPPY WOMAN 大学生サミット』には、本学の学生で構成された2チームが参加しました。

「女性が生き生きと“自分らしく働く社会”を創るために」をテーマに、働く女性を取り巻く健康課題（月経・更年期・がん）と仕事の問題について、解決策を大学生がプレゼンテーションし、女性の活躍・健康支援等に取り組んでいる道内企業やコメンテーターと一緒に考えました。解決策のアイデアは今後、北海道女性支援室に提言される予定です。



写真提供：HAPPY WOMAN 実行委員会北海道支部

<https://www.dei.hokudai.ac.jp/archives/26665/>

2024年度実施事業一覧

実施日	実施事業
6/28	「上位職スキルアップ研修：女性研究者のためのリーダーとして『話す力』”実践編”」開催
7/16	理系女子学生・院生キャリアデザインセミナー「自分らしい、ありたい姿を考えよう～ロールモデルとの対話から考える～」開催
8/2	「第1回北大女性教授ネットワーキングの会」開催
8/5	「あつまれ、未来の女性法律家！！一弁護士・裁判官・検察官に会ってみよう！」後援
9/15	北大×JAL「さっぽろレインボープライド2024」パレード参加
11/13,20	DEI公開講座 開催（大学院共通科目「SOGIESC概論：セックス・ジェンダー・セクシュアリティ研究入門」）
11/22	DEIキャンペーン特別講演会「DEI (Diversity, Equity, and Inclusion) の視点からみる大学のイノベーション創出とグローバルリーダーの育成」開催
11/23-28	フィンランド・オウル大学 訪問調査
12/4	国立大学法人北海道大学桂田芳枝賞
12/4	DEIキャンペーン「障害者週間特別講演会『耳が聞こえなくたって～難病の子供を持ち、大企業を辞めて起業するまで～』」開催
12/14	「体験型科学実験教室：『感じて』動くロボットを作るには」開催
12/14	北海道大学リカレント教育推進部公開シンポジウム「誰もがつながり合う共生のまちづくり～演劇教育が創る未来のビジョン～」共催
12/15	「体験型科学実験教室：数字で4次元が見える～多面体の形を数える」共催
12/16~3/14	「ダイバーシティ&インクルージョンに関する図書展示」共催
12/26	「体験型科学実験教室：北大工学部まるごと体験ツアー」共催
1/27	FD講演会「東京科学大学（理工系）に於ける女性活躍への施策と課題」共催
2/1	「中学生対象イベント：獣医学部の世界へようこそ・研究体験ワークショップ」共催
3/3	「Woman's Career Canvas~女子学生が描くキャリアの未来図～」開催
3/9	「HAPPY WOMEN FESTA 大学生サミット～私たちが考える！Well-beingな未来とは～」協力
3/10	「第2回北大女性教授ネットワーキングの会」開催

COLOPHON

ANNUAL REPORT 2024

発行

2025年3月

発行者

北海道大学ダイバーシティ・インクルージョン推進本部

お問い合わせ先

〒060-0812

札幌市北区北12条西7丁目

北海道大学 中央キャンパス総合研究棟1号館1階

TEL／011-706-3625

Email／office@dei.hokudai.ac.jp



HOKKAIDO UNIVERSITY
OFFICE OF DIVERSITY,
EQUITY,
AND INCLUSION
www.dei.hokudai.ac.jp



北海道大学
ダイバーシティ・インクルージョン推進本部
Office of Diversity, Equity, and Inclusion